



2023年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月12日

上場会社名 株式会社プログリット 上場取引所 東
 コード番号 9560 URL http://www.progrit.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡田 祥吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理部長 (氏名) 谷内 亮太 TEL 03 (6381) 7760
 定時株主総会開催予定日 2023年11月29日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2023年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期の業績（2022年9月1日～2023年8月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	3,023	34.2	497	52.5	492	53.6	360	92.9
2022年8月期	2,252	13.7	326	-	320	-	187	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年8月期	31.31	28.69	48.1	23.8	16.4
2022年8月期	18.14	-	66.1	25.2	14.5

- (注) 1. 当社は、2022年9月29日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年8月の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 当社は、2023年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2022年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株あたり当期純利益を算定しております。
3. 2022年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	2,628	1,092	41.5	91.70
2022年8月期	1,509	409	27.0	39.50

(参考) 自己資本 2023年8月期 1,091百万円 2022年8月期 408百万円

(注) 当社は、2023年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2022年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年8月期	796	△16	239	1,975
2022年8月期	494	12	30	955

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2022年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年8月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	25.7	610	22.7	610	23.7	440	21.9	36.95

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年8月期	11,907,492株	2022年8月期	10,333,881株
2023年8月期	329株	2022年8月期	0株
2023年8月期	11,523,686株	2022年8月期	10,311,664株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手について）

当社は、2023年10月12日（木）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

上記説明会のほかにも、当社では個人投資家のみなさま向けに、定期的に事業・業績に関する説明会を開催していきます。この説明会で配付する資料および主な質疑応答は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。今後の開催の予定等については、当社ウェブサイトをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(表示方法の変更)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における当社を取り巻く経営環境につきましては、新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同等の「5類」に移行し、対面を含む英語学習需要の回復傾向が見られます。また、2022年10月からは新型コロナウイルス感染症に関する水際対策緩和を受け訪日外客数も徐々に増え始めるなど、国際間の移動の再開も確認されております。このことから、企業における海外転勤や個人の海外渡航への意欲が回復傾向にあるものと見ております。

さらに、国内市場の縮小や少子高齢化への懸念を持つ企業の海外市場への進出、グローバル人材の確保といった中長期的視点での英語学習への意欲は依然として高く、期待した成果を上げられていなかった従来型の英会話サービスから英語コーチングサービスへの乗り換えの動きも散見されるようになりました。このような動きに対応する形で、従来型の英会話サービス提供会社が英語コーチングサービスを展開する等、着実に英語コーチング市場が拡大しているものと見ております。また、個人での英語学習だけでなく、従業員育成・福利厚生の一環として英語学習の導入を検討する企業のニーズも存在することから、中長期的に英語学習市場全体が堅調に推移していくものと考えております。

このような環境の中、当社におきましては、英語コーチングサービス「プログリット」において、集中学習によって飛躍的に英語力を向上させるために、①顧客ごとにカスタマイズしたカリキュラムの設計、②英語学習を継続させる習慣を身につけるためのコンサルタントによるサポート、という主に2つの特徴において、継続的な品質向上と改善に取り組んでおります。当事業年度においては、2022年9月29日に東京証券取引所グロース市場への上場後積極的に取り組んだメディア対応等を通じた知名度向上により、特に個人顧客の予約数・契約数は増加傾向にあります。また、サブスクリプション型の英語学習サービスである「シャドテン」はYouTuberとのタイアップ動画等の効果的なプロモーションによる申込数の増加、学習コンテンツの拡充やアプリの顧客体験改善等による平均継続期間の増加等により、有料課金ユーザーは増加の一途を辿っており当社の収益基盤として順調に成長しております。以上の結果、当事業年度の売上高は3,023,643千円（前事業年度比34.2%増）、営業利益は497,081千円（前事業年度比52.5%増）、経常利益は492,979千円（前事業年度比53.6%増）、当期純利益は360,841千円（前事業年度比92.9%増）となりました。

また、当社は英語コーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は2,628,221千円となり、前事業年度末に比べ1,118,503千円増加しました。これは主に、現金及び預金が1,000,102千円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は1,535,294千円となり、前事業年度末に比べ435,202千円増加しました。これは主に、契約負債が248,455千円、未払金が113,090千円、賞与引当金が73,338千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は1,092,927千円となり、前事業年度末に比べ683,300千円増加しました。これは資本金が161,647千円、資本剰余金が161,647千円、利益剰余金が360,841千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.5%（前事業年度末は27.0%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末より1,020,102千円増加し、1,975,644千円となりました。当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた現金及び現金同等物は、796,938千円（前事業年度は494,480千円の収入）となりました。主な要因といたしましては、税引前当期純利益492,979千円の計上、契約負債の増加248,455千円、未払金の増加113,090千円、法人税の支払額167,065千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した現金及び現金同等物は、△16,737千円（前事業年度は12,828千円の収入）となりました。主な要因といたしましては、定期預金の解約による収入20,000千円、敷金の差入による支出14,921千円、預け金による支出12,000千円、有形固定資産の取得による支出8,000千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた現金及び現金同等物は、239,901千円（前事業年度は30,583千円の収入）となりました。要因といたしましては、株式発行による収入264,811千円と新株予約権の行使による株式の発行による収入57,997千円、長期借入金の返済による支出102,558千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2020年より猛威をふるっていた新型コロナウイルス感染症の影響は収束傾向にあり、現状では特に人々の行動制限を設けない方針であることから、当社が現在主力事業領域としている成人向け外国語教室市場規模は回復が続いていくことが予想されております。

また、ビジネスで人を動かすための熱量を自らの言葉で直接伝えることの重要性が失われることは当面なく、ビジネスシーンを意図した英語学習へのニーズは今後も堅調に推移するものと考えております。従業員育成・福利厚生の一環として英語学習の導入を検討する企業のニーズも存在することから、法人企業のニーズを的確に捉えた法人向けの「プログリット (PROGRIT)」の導入拡大を推進しており、前事業年度対比で増加しております。

さらには、高単価な短期集中の英語コーチングサービスでのシェア拡大を目指すとともに、ターゲット顧客層の拡大及び既存顧客の顧客生涯価値の最大化のために、中低価格帯のサービスにも事業を拡大しております。2024年8月期においては、「シャドテン」に加え新たに2つのサブスクリプション型英語学習サービスの提供開始を予定しており、より幅広い英語学習者層への認知拡大と、顧客生涯価値の向上を目指します。

上記より、当社は2024年8月期の見通しについて、売上高3,800百万円（前事業年度比25.7%増）、営業利益610百万円（前事業年度比22.7%増）、経常利益610百万円（前事業年度比23.7%増）、当期純利益は440百万円（前事業年度比21.9%増）を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成する体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当事業年度 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	975,541	1,975,644
売掛金	38,128	58,520
商品	15,134	11,707
貯蔵品	6,987	3,149
前払費用	56,497	69,957
その他	863	13,144
流動資産合計	1,093,154	2,132,123
固定資産		
有形固定資産		
建物	165,819	180,878
減価償却累計額	△38,367	△50,000
建物（純額）	127,452	130,878
工具、器具及び備品	14,511	17,664
減価償却累計額	△8,843	△11,100
工具、器具及び備品（純額）	5,668	6,564
有形固定資産合計	133,120	137,442
無形固定資産		
ソフトウェア	35	-
無形固定資産合計	35	-
投資その他の資産		
投資有価証券	-	7,834
出資金	20	20
長期前払費用	1,446	1,647
繰延税金資産	64,568	122,307
敷金	216,572	226,046
その他	800	800
投資その他の資産合計	283,407	358,656
固定資産合計	416,564	496,098
資産合計	1,509,718	2,628,221

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当事業年度 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,406	18,520
1年内返済予定の長期借入金	102,558	71,826
短期借入金	10,000	-
未払金	95,885	208,975
未払費用	58,549	85,502
未払法人税等	127,784	148,470
契約負債	447,057	695,512
預り金	15,519	21,028
賞与引当金	45,720	119,059
その他	42,964	65,561
流動負債合計	957,446	1,434,458
固定負債		
長期借入金	136,276	94,450
資産除去債務	6,369	6,386
固定負債合計	142,645	100,836
負債合計	1,100,091	1,535,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	118,454	280,101
資本剰余金		
資本準備金	115,454	277,101
資本剰余金合計	115,454	277,101
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	174,264	535,105
利益剰余金合計	174,264	535,105
自己株式	-	△349
株主資本合計	408,173	1,091,959
新株予約権	1,453	967
純資産合計	409,626	1,092,927
負債純資産合計	1,509,718	2,628,221

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
売上高	2,252,808	3,023,643
売上原価	742,578	882,687
売上総利益	1,510,230	2,140,955
販売費及び一般管理費	1,184,202	1,643,873
営業利益	326,027	497,081
営業外収益		
ポイント還元収入	782	1,818
利子補給金	669	1,288
印税収入	330	602
その他	315	508
営業外収益合計	2,097	4,217
営業外費用		
上場関連費用	3,625	5,522
支払利息	3,381	2,251
その他	208	546
営業外費用合計	7,215	8,320
経常利益	320,908	492,979
特別利益		
新株予約権戻入益	54	0
特別利益合計	54	0
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税引前当期純利益	320,963	492,979
法人税、住民税及び事業税	111,373	189,876
法人税等調整額	22,530	△57,738
法人税等合計	133,903	132,138
当期純利益	187,060	360,841

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	83,454	80,454	80,454	△6,091	△6,091	157,816	1,508	159,324
会計方針の変更による累積的影響額				△6,704	△6,704	△6,704		△6,704
会計方針の変更を反映した当期首残高	83,454	80,454	80,454	△12,795	△12,795	151,112	1,508	152,620
当期変動額								
新株の発行	35,000	35,000	35,000			70,000		70,000
新株の発行 (新株予約権の行使)								
新株予約権の失効							△54	△54
当期純利益				187,060	187,060	187,060		187,060
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	35,000	35,000	35,000	187,060	187,060	257,060	△54	257,005
当期末残高	118,454	115,454	115,454	174,264	174,264	408,173	1,453	409,626

当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	118,454	115,454	115,454	174,264	174,264	-	408,173	1,453	409,626
当期変動額									
新株の発行	132,405	132,405	132,405				264,811		264,811
新株の発行 (新株予約権の行使)	29,241	29,241	29,241				58,482		58,482
新株予約権の失効								△0	△0
当期純利益				360,841	360,841		360,841		360,841
自己株式の取得						△349	△349		△349
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								△485	△485
当期変動額合計	161,647	161,647	161,647	360,841	360,841	△349	683,786	△485	683,300
当期末残高	280,101	277,101	277,101	535,105	535,105	△349	1,091,959	967	1,092,927

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	320,963	492,979
減価償却費及びその他の償却費	19,218	19,731
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,323	73,338
受取利息及び受取配当金	△7	△14
為替差損益 (△は益)	-	△18
支払利息	3,381	2,251
売上債権の増減額 (△は増加)	△18,798	△20,391
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,276	7,265
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,886	7,113
未払金の増減額 (△は減少)	△19,465	113,090
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,486	26,953
前払費用の増減額 (△は増加)	△9,193	△13,460
契約負債の増減額 (△は減少)	119,096	248,455
未払消費税等の増減額 (△は減少)	31,157	22,411
その他	7,482	△13,483
小計	461,284	966,222
利息及び配当金の受取額	7	33
利息の支払額	△3,381	△2,251
法人税等の支払額	△2,768	△167,065
法人税等の還付額	39,339	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	494,480	796,938
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	-	△8,000
有形固定資産の取得による支出	△2,274	△1,815
敷金の返還による収入	24,244	-
敷金の差入による支出	△3,366	△14,921
定期預金の払戻による収入	-	20,000
その他	△5,775	△12,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,828	△16,737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	40,000	-
短期借入金の返済による支出	△38,300	△10,000
長期借入れによる収入	80,000	30,000
長期借入金の返済による支出	△121,117	△102,558
株式の発行による収入	70,000	264,811
自己株式の取得による支出	-	△349
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	57,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,583	239,901
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	537,892	1,020,102
現金及び現金同等物の期首残高	417,649	955,541
現金及び現金同等物の期末残高	955,541	1,975,644

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり純資産額	39.50円	91.70円
1株当たり当期純利益	18.14円	31.31円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	28.69円

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

2. 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 当社は、2022年9月29日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年8月の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

4. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	187,060	360,841
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	187,060	360,841
普通株式の期中平均株式数(株)	10,311,663	11,523,686
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	1,051,581
(うち新株予約権(株))	—	1,051,581
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権4種類(新株予約権の数は484,423個)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。